

久し振りの互和讃会 2023 (昭和37年卒クラス会)

令和5年5月29日

コロナパンデミックに振り回された3年余り、一応制約がなくなって日常が戻ったとはいえまだまだ注意が必要な今日ではあるが、1昨年暮れ亡くなった同級生の高井禎之君を偲ぶため、同君の奥さんの希望もあり一周忌（実際は約1年半程過ぎてはいるが）の供養に去る5月29日雨模様の大阪に集まった。

体調不良で参加できない同級生も数人いたが、近隣の5人とすでに亡くなっている同級生の奥方1人計6人が、福島の高井君の接した非常にロケーションの良いマンションの高井君宅へお邪魔した。部屋に設置してある仏壇でお参りしてから、同夫人に用意してもらった高井君行きつけの寿司屋永吉に向かった。

まず高井君に向けて献杯し、準備してあった見事な寿司コース料理を頂きながら在りし日の彼を偲んだ。過去の色々な集まりや、準指の腕前を持つ高井君のスキー旅行の話、又岩坪君の定期的な謡曲の会があり忙しい日々を過ごしている話等現在の同級生達の様子や健康状態を心配する話、そして今後我々がどの様に生きて行くか等、久し振りに集まった事もあり話も弾んだ。我々の同級生達も既に半数以下になり、非常に寂しさを感じている今日でもあり、何とか皆が元気なうちに又集まれるようにと今後お互いに連絡を取り易くするために、Lineのお友達グループに加入することにした。話題は様々で尽きなかったが、何分夜遅く遠方に出掛ける事がちょっと億劫になって来た我々なので、このあたりで話を切り上げて帰宅することにした。

数少ない集まりではあったが、互和讃会としてレポートした。

寿司屋永吉での集合写真



左から 泉夫人 高井夫人 川崎 岩坪 山中 福西 筆者の各氏

以上
山崎 記